

MODEL
#4070/#12-9

取扱説明書

トランスファーストレッチャー

FORM TS-003
DATE 01/APL/21
TRANSFER STRETCHER



この度はファーノ・ワシントン社製トランスファーストレッチャーをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございました。本器をご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読み下さいますようお願い致します。

お願い

1. この取扱説明書は、大切に保管して必要な時にはご再読下さい。
2. ご使用になる方全員に適切な講習を行って下さい。
3. 右欄は必要事項の記録用にお使い下さい。
4. 日常の点検は確実に行って下さい。
5. 使用方法に関してお分かりにならない点がありましたら、販売店または弊社までお問い合わせ下さい。

製造番号

購入日

販売店

その他

 **FERNO**[®]
Japan

ファーノ・ジャパン・インク 日本支社

日本支社 : 〒101 東京都千代田区岩本町 1-9-5 FKビル 4F
-0032 Tel : 03-5820-4649(代) Fax : 03-5820-4669
商品・技術 : 〒192 東京都八王子市下柚木 528-1
センター -0372

取扱条件

本器を安全に操作するためには、下記の条件を満たす必要があります。

- ・ フレーム等を両手でしっかり掴む事ができる。
- ・ 傷病者を乗せて、持ちあげたり搬送したりする力がある。
- ・ バランス感覚がある。
- ・ 操作中に安全を確認する能力と、危険を回避する反射神経を持っている。



注意

安全のため、操作は2人以上で行って下さい。また、傷病者が極端に重い場合や路面が不安定な場合等は、介助者を増やして下さい。

カスタマーサービス

トランスポーター、ストレッチャーには製造番号（シリアルナンバー）が付いています。

製造番号は、この取扱説明書の表紙の所定の欄に記入して下さい。

お問い合わせの際には、モデル名と製造番号をご連絡下さい。

本書をお読みになり不明な点がございましたら、販売代理店または弊社までお問い合わせ下さい。

保証

弊社保証規定により、ご購入日より1年間の保証を致します。

仕様

モデル 4070（トランスポーター）

全長	197.0cm	重量	23.8kg (4070)
全幅	56.0cm		
高さ 最高	89.0cm	最大荷重	159.0kg
ローディングホイール	64.5cm		

モデル 12-9（ストレッチャー）

全長	191.0cm	重量	12.1kg
全幅	53.5cm	最大荷重	159.0kg
高さ	8.5cm		

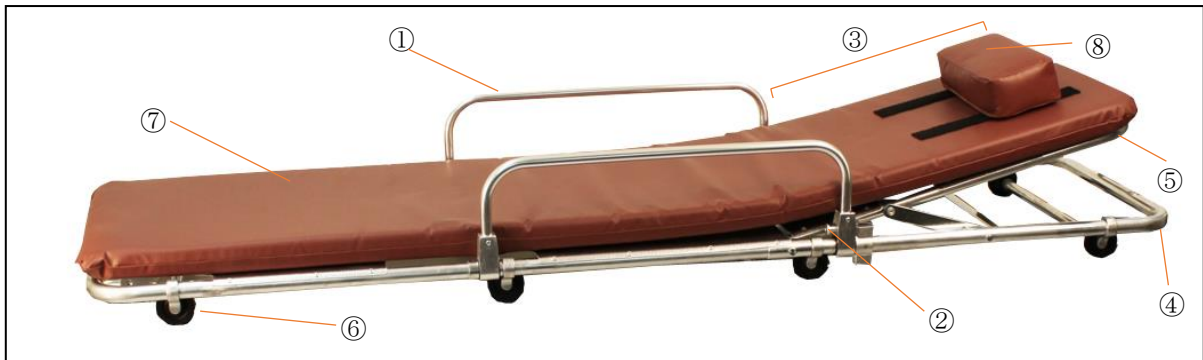


注意

最大荷重を越えての搬送は本体を破損するばかりでなく、事故の原因となりますので、絶対におやめ下さい。

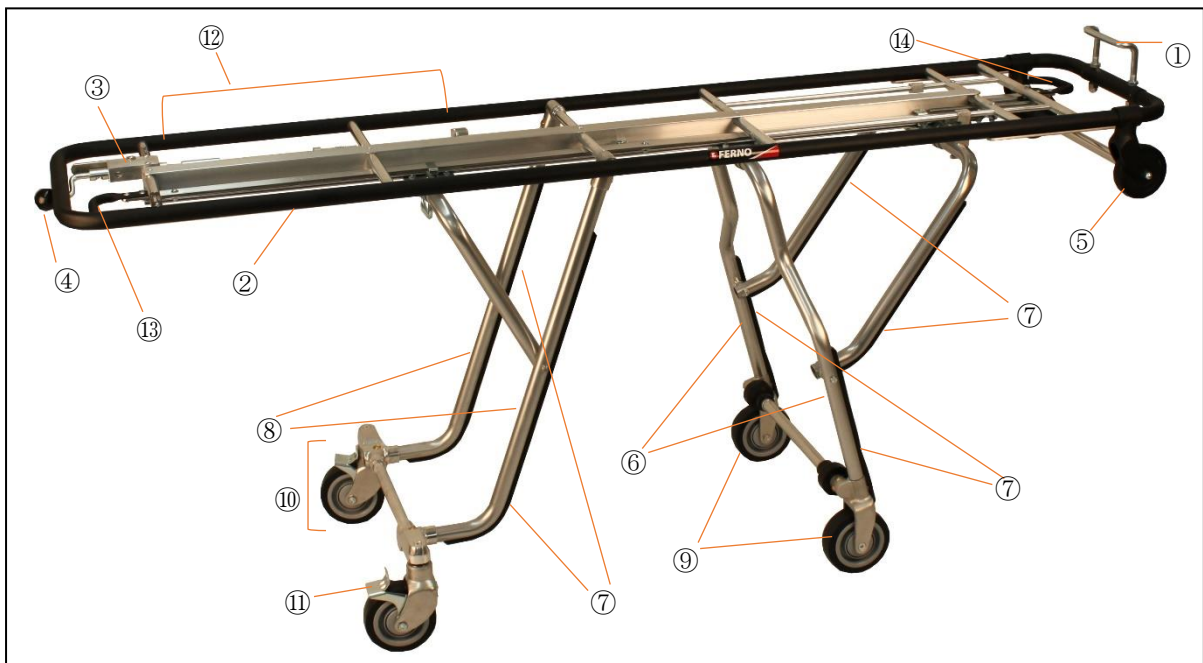
各部名称

モデル 12-9 (ストレッチャー)



- | | |
|---------------|--------------|
| ① サイドアーム | ⑤ バックレストフレーム |
| ② サイドアームロックピン | ⑥ ローラー |
| ③ バックレスト | ⑦ マットレス |
| ④ メインフレーム | ⑧ マクラ |

モデル 4070



- | | |
|---------------------|-------------------|
| ① ロックバー | ⑧ リヤレッグ |
| ② メインフレーム | ⑨ フロントホイール (5インチ) |
| ③ ロックキット | ⑩ キャスター (5インチ) |
| ④ ロックノブ | ⑪ ブレーキ (ホイールロック) |
| ⑤ ローディングホイール (4インチ) | ⑫ ロックロッド |
| ⑥ フロントレッグ | ⑬ ロックリリースハンドル |
| ⑦ スカフストリップ | ⑭ ロックリリースハンドル |

操作方法

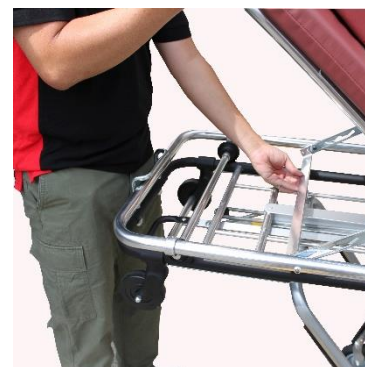
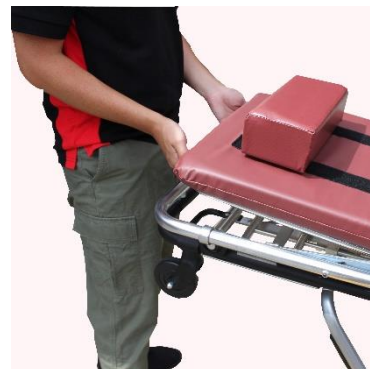
モデル 12-9 (ストレッチャー)

(1) バックレストの調節

バックレストは3段階に調節できます。

バックレストフレームを両手で持ち上げると、1段だけ上がります。

それ以後は、ブレース部の溝を指でずらしながら上げ(下げ)て下さい。(図1)



(図1)

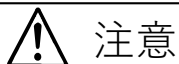
(2) サイドアーム

サイドアームの内側にあるロックピンを引くとロックが外れ、サイドアームを倒す事ができます。

元に戻すと自動的にロックされますが、確実にロックされたかどうか確認して下さい。(図2)

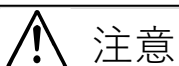


(図2)



注意

バックレストを調節する際、指や手を挟まないように十分注意して下さい。また、傷病者を乗せた状態で調節する時には、バックレストフレームをしっかり支えながら落下する事のないように十分注意して下さい。



注意

傷病者をストレッチャーに乗せた時は、必ずサイドアームを立て、ロックされているかどうか確認して下さい。

操作方法

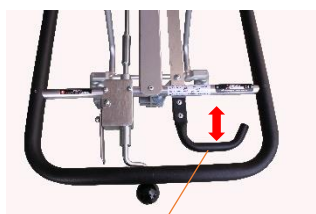
B : モデル 4070 (トランスポーター)

(1) 高さ調節

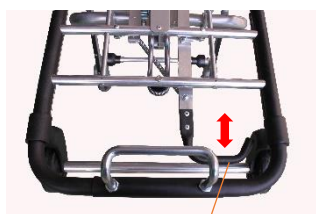
高さ調節は頭部側、操作側の各リリースハンドルで行います。

リリースハンドルを握るとロックが解除され、高さ調節ができます。

この時、トランスポーターのメインフレームを両手で確実に支えておかないとストレッチャーが自重で下へ落ちますので十分注意して下さい。



操作側リリース
ハンドル



頭部側リリースハンドル



両手(逆手)でメインフレームを支えながらリリースハンドルを操作します。

ロックが解除されたらトランスポーターを上げ(下げ)ながらリリースハンドルを離します。

次の高さでロックが掛りますので、目的の高さになるように調節して下さい。6段階の高さ調節が可能です。

トランスポーターを水平に上げ下げするためには、頭部側、操作側にそれぞれ1人ずつ立ち、同時に操作する必要があります。



注意

操作に慣れるまで、傷病者を乗せない状態で十分に練習して下さい。

傷病者を乗せて調節する時には、2人以上で無理のない方法で行って下さい。



(2) ブレーキのかけ方

後輪2輪にはブレーキシステムが装着されています。

ブレーキをかける時はロックレバーの上を足で踏みます。

又、解除する時はロックレバーを押し上げて下さい。



ブレーキをかけた状態



ブレーキを解除した状態

(3) モデル 12-9 搭載時のロック方法

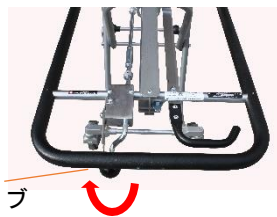
トランスポーターの頭部側と、ストレッチャーの頭部側が合うように載せて下さい。ストレッチャーを載せたらトランスポーターのロックバーに当たるように合わせます。(図 3)

操作側にあるロックノブを時計周りに、ロック部分がパイプと並行になるまで回転させて押し込むと、トランスポーターとストレッチャーがロックされます。(図 4) 慣れるまでは、ロックノブの回転具合を目視で確認してください。

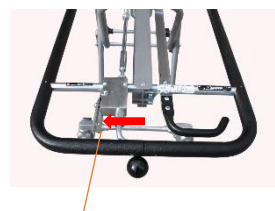
解除する時はロックリリースレバーを外側へ押して下さい。ロックノブが元の位置に戻り、ロックが解除されます。(図 5)



(図 3)



(図 4)



ロックリリースレバー
(図 5)

(4) 搬送

通常は 2 人で搬送します。それぞれストレッチャーの前後に立ち、頭部側を進行方向に向けて押して下さい。段差を越える場合には無理に押しつせず、持ちあげて越えて下さい。



注意

傷病者を乗せている時は、サイドアームを立て、傷病者固定ベルトで確実に固定して下さい。

(5) 車への搬入、車からの搬出

1. 搬入方法

搬入時、トランスポーターの高さは最高位で行います。
(最高位以外の高さでは搬入はできません。)

フロントレッグ (頭部側) が車のバンパーに当たるまでトランスポーターを押し進めます。

ローディングホイールが車の床面に載っている事を確認して下さい。(図 6)



(図 6)

フロントレッグがバンパーに確実に当たっている事を確認してからトランスポーターのメインフレームを両手で (手のひらを上に) 支えながら操作側のリリースハンドルを握ります。

両脚のロックが外れ、フリーとなりますのでリリースハンドルを握った状態でトランスポーターを車内に押し込みます。(図 7)



(図 7)



注意

両脚のロックが外れた時に、傷病者とストレッチャー全体の荷重がかかりますので、落とさないように注意して下さい。重い時には 2 人以上で支えながら操作して下さい。

フロントレッグ、リヤレッグの順でトランスポーターの脚が折り畳まれますので最後まで押し込んで下さい。(図 8)



(図 8)

搬入が終了したら、車内に装備されているファスナー (固定金具) で固定して下さい。

2. 搬出方法

トランスポーターのメインフレームを両手 (手のひらを上にして) で持ち、リリースハンドルを握りながら引き出します。



リヤレッグが伸び切ったらリリースハンドルを離して下さい。更に引き出すとフロントレッグが伸び始めますので、ローディングホイールが車の床面に載っている状態で前脚が伸びきった事を確認して下さい。伸び切った時にカチッという音がしてロックがかかりますので、必ず確認して下さい。(図 9)



(図 9)

注意

前脚が伸び切らないうちにローディングホイールが床面から引き出されると、ストレッチャーのローディングホイール側が落ち、危険です。ローディングホイールが床面に載っている状態で前脚が完全に伸びたかどうかを必ず確認して下さい。

また、車の床面とトランスポーターのローディングホイールの上に極端な隙間がある場合には脚が伸びにくくなります。トランスポーターの操作側を持ち上げて脚を確実に伸ばして下さい。車の床面とローディングホイールの高さが極端に違う場合には使用を中止し、販売代理店、又は弊社までご相談下さい。

メンテナンス

- 最低でも月に 1 回は点検を行って下さい。点検により不具合が見つかった場合には直ちに販売代理店、又は弊社に連絡を取り、修理が完了するまで使用しないで下さい。
- 作動時に擦れ合う部分にはグリース等を必ず注油して下さい。
- アルミフレームは、石けん水、又は中性洗剤で洗った後、自動車用のワックスでコーティングして下さい。
- マットレス、シート等のナイロン織りの表面はアルコール等で拭いて下さい。
- スカフストリップについては磨耗状況に十分注意して下さい。磨耗したまま使用すると、トランスポーターの脚部が破損を生じるばかりでなく、自動車のバンパー部分等に傷を付ける恐れがありますので早めに交換して下さい。